

本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2019年2月7日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約し、2月19日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

サノフィ、2018年度通年に1株当たり事業純利益が5.1%成長 (CER ベース)

	2018年度 第4四半期	前年同期比	前年同期比 (CER)	2018年度 通年	前年同期比	前年同期比 (CER)
IFRS 純売上高(為替調整前)	€8,997m	+3.5%	+3.9%	€34,463m	-1.7%	+2.5%
IFRS 純利益(為替調整前)	€254m	+101.6%	-	€4,306m	-48.8% ⁽²⁾	-
IFRS 1株当たり純利益 (為替調整前)	€0.20	+100.0%	-	€3.45	-48.5% ⁽²⁾	-
事業純利益 ⁽¹⁾	€1,364m	+2.9%	+4.3%	€6,819m	-1.8%	+4.2%
1株当たり事業純利益 ⁽¹⁾	€1.10	+3.8%	+4.7%	€5.47	-0.9%	+5.1%

第4四半期の売上高⁽³⁾は、スペシャルティケアとワクチンが牽引

- 純売上高は、調整前 3.5%増(CER ベースで 3.9%増⁽³⁾、CER/CS ベース⁽⁴⁾で 2.6%増)の 89 億 9,700 万ユーロ
- サノフィジェンザイムの売上高は、免疫および希少血液疾患製品群に牽引され、調整前 37.4%増(CER/CS ベース⁽⁴⁾で 16.1%増)
- ワクチンの売上高は、インフルエンザの差別化戦略と Menactra[®]の成功に牽引され、9.7%増
- コンシューマー・ヘルスケア(CHC)の売上高は、新興市場に支えられ、1.9%増
- 2015年～2018年の見通しに沿って、糖尿病および循環器(DCV)⁽⁵⁾グローバルビジネスユニット(GBU)の売上高は 11.3%減、グローバル糖尿病製品群の売上高は 10.5%減
- 新興市場の売上高⁽⁶⁾は、アジアでの好業績を反映し、6.0%増

2018年度通年の売上高は、新製品と新興市場による増加が米国での特許権満了の影響を十分に相殺

- 2018年度通年の純売上高は、調整前 1.7%減(CER ベースで 2.5%増、CER/CS ベース⁽⁴⁾で 0.6%増)の 344 億 6,300 万ユーロ
- サノフィジェンザイムの売上高は、30.8%増(CER/CS⁽⁴⁾ベースで 14.2%増)の 72 億 2,600 万ユーロ
- ワクチンの売上高は 2.4%増の 51 億 1,800 万ユーロ、CHC の売上高は 3.0%増の 46 億 6,000 万ユーロ
- 糖尿病および循環器⁽⁵⁾GBU の売上高は、13.8%減の 45 億 1,100 万ユーロ
- 新興市場の売上高は、中国の好業績(12.7%増)に支えられ、7.5%増

サノフィは2018年度通年に見通し範囲上限の1株当たり事業純利益を達成

- 2018年度第4四半期の1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、CER ベースで 4.7%増の 1.10 ユーロ
- 2018年度通年の1株当たり事業純利益は、CER ベースで 5.1%増の 5.47 ユーロ、IFRS 1株当たり純利益は、48.5%減⁽²⁾の 3.45 ユーロ
- 取締役会は、25年連続で増配となる 3.07 ユーロの配当を提案

研究開発におけるイノベーションを維持する上での重要な成果

- Isatuximab が再発性・難治性多発性骨髄腫の第 III 相 ICARIA 試験において主要評価項目を達成
- BIVV001 が 1 週間に 1 回の投与で持続する高い因子レベルを示し、そのデータが ASH で発表される
- 中等度から重度のアトピー性皮膚炎の思春期患者におけるデュピクセント[®]が FDA の優先審査対象に指定される
- 技術プラットフォームとデータサイエンスを活かし、スペシャルティケアとワクチンを優先して研究開発戦略を展開

2019年度通年の財務見通し

- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2019年度通年の1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、CER ベースで 3%～5%増⁽⁷⁾と予測します。2019年1月の平均レートを適用すると、2019年度通年の1株当たり事業純利益への為替レート変動の影響は、1%～2%と予測します。

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディケールのコメント:

「第4四半期に当社は前四半期の勢いを維持し、通年の見通しの上限に当たる1株当たり事業純利益の5%増を達成しました。2018年は米国の特許権満了による逆風が落ち着き始め、デュピクセント[®]、Libtayo[®]、Cablivi[®]を含む重要な製品を発売しました。さらに、Bioverativ社とAblynx社の買収によって、トップクラスの希少血液疾患製品群を確立し、生物学的創薬能力を高める基礎を築くことができました。2019年に入り、私たちは引き続きビジネス上の優先課題を達成することと、サノフィを変革して、業界が直面するビジネスダイナミクスの進化に対応していくことに重点的に取り組んでいきます」

(1) 当カンパニーの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です(定義は付録 10(英語版プレスリリース)を参照)。2018 年度第 4 四半期の連結損益計算書については付録 3(英語版プレスリリース)に、IFRS 純利益(為替調整前)から事業純利益への調整については付録 4(英語版プレスリリース)に記載しています。(2) 動物用医薬品事業の売却益を除くと、年初から 12 カ月間の IFRS 純利益は 14.5%増、年初から 12 カ月間の IFRS 1 株当たり利益は 15.3%増。(3) 特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(付録 10(英語版プレスリリース)を参照)。(4) CS(constant structure):Bioverativ 社の買収について調整を実施。(5) DCV:糖尿病および循環器 (6) 定義は 3 ページを参照。(7) 2018 年度の 1 株当たり事業純利益は 5.47 ユーロ。

グローバル製品群

以下の表は、2018 年度第 4 四半期および通年のグローバル製品群別売上高をまとめたものであり、比較しやすいように新興市場における売上高を含めています。英語版プレスリリース付録 1 に、GBU 別および製品群別の調整値をまとめています。

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 第 4 四半期	前年同期比 (CER)	先進国市場	前年同期比 (CER)	新興市場	前年同期比 (CER)
スペシャルティケア	2,328	+35.2%	2,054	+37.4%	274	+22.4%
糖尿病および循環器	1,552	-7.1%	1,170	-11.3%	382	+7.9%
エスタブリッシュ処方製品	2,126	-6.8%	1,242	-13.0%	884	+2.9%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	1,194	+1.9%	789	-0.4%	405	+6.4%
ジェネリック医薬品	270	-33.8%*	97	-61.4%**	173	+3.8%
ワクチン	1,527	+9.7%	1,054	+13.3%	473	+2.5%
純売上高合計	8,997	+3.9%	6,406	+3.0%	2,591	+6.0%

* CS ベースで 6.7%増

** CS ベースで 12.9%増

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 通年	前年同期比 (CER)	先進国市場	前年同期比 (CER)	新興市場	前年同期比 (CER)
スペシャルティケア	8,269	+29.0%	7,226	+30.8%	1,043	+18.7%
糖尿病および循環器	6,083	-7.9%	4,511	-13.8%	1,572	+13.1%
エスタブリッシュ処方製品	8,843	-6.1%	5,090	-14.1%	3,753	+6.6%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	4,660	+3.0%	3,072	-0.1%	1,588	+8.9%
ジェネリック医薬品	1,490	-9.8%*	805	-19.4%**	685	+3.0%
ワクチン	5,118	+2.4%	3,647	+4.5%	1,471	-2.3%
純売上高合計	34,463	+2.5%	24,351	+0.5%	10,112	+7.5%

* CS ベースで 0.6%減

** CS ベースで 3.8%減

(8) 財務指標の定義は、英語版プレスリリース付録 10 を参照

地域別カンパニー売上高

サノフィ売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 第 4 四半期	前年同期比 (CER)	2018 年度 通年	前年同期比 (CER)
米国	3,195	+8.7%	11,540	+0.7%
新興市場 ^(a)	2,591	+6.0%	10,112	+7.5%
—アジア	941	+8.4%	3,962	+9.3%
—中南米	710	+2.6%	2,612	+8.1%
—アフリカおよび中東	601	+5.2%	2,232	+1.1%
—ユーラシア ^(b)	288	+3.3%	1,152	+10.1%
欧州 ^(c)	2,342	-4.8%	9,434	-0.6%
その他の国 ^(d)	869	+6.7%	3,377	+2.7%
—日本	423	-1.4%	1,710	-2.0%
サノフィ売上高合計	8,997	+3.9%	34,463	+2.5%

(a) 米国、カナダ、西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコを除く各国

(b) ロシア、ウクライナ、ジョージア、ベラルーシ、アルメニア、およびトルコ

(c) 西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)

(d) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコ

第 4 四半期における米国の売上高は、8.7%増の 31 億 9,500 万ユーロでした。これは主に、デュピクセント®と Aubagio®の好業績、および Elocate®と Alprolix®の売上高の連結によって、糖尿病製品群(26.3%減)と sevelamer の売上高減少が部分的に相殺されたことを反映しています。2018 年度通年における米国の売上高は、0.7%増の 115 億 4,000 万ユーロとなりました。

第4四半期における新興市場の売上高は、主に希少疾患(32.6%増)、糖尿病(7.7%増)、CHC(6.4%増)製品群に牽引され、6.0%増の25億9,100万ユーロとなりました。第4四半期におけるアジアの売上高は、中国の業績(8.3%増の5億6,600万ユーロ)に支えられ、8.4%増の9億4,100万ユーロとなりました。第4四半期における中南米の売上高は、2.6%増の7億1,000万ユーロとなりました。第4四半期におけるブラジルの売上高は、10.0%増の2億5,400万ユーロとなりました。第4四半期におけるアフリカおよび中東の売上高は、5.2%増の6億100万ユーロとなりました。第4四半期におけるユーラシア地域の売上高は、ロシアの売上高減少(4.0%減の1億5,300万ユーロ)によってトルコの成長が部分的に相殺され、3.3%増の2億8,800万ユーロとなりました。2018年度通年における新興市場の売上高は、7.5%増の101億1,200万ユーロとなりました。2018年度通年における中国、ブラジル、およびロシアの売上高は、それぞれ12.7%増の24億6,400万ユーロ、7.0%増の10億2,300万ユーロ、4.6%増の6億500万ユーロでした。

第4四半期における欧州の売上高は、欧州でのジェネリック医薬品事業の売却により、4.8%減の23億4,200万ユーロとなりました。CSベースでは、第4四半期における欧州の売上高は、ワクチン(21.9%増)およびデュビクセント®の展開によってエスタブリッシュ処方製品(6.8%減)の売上高減少が相殺され、2.0%増となりました。2018年度通年における欧州の売上高は、0.6%減(CSベースで1.1%増)の94億3,400万ユーロでした。

第4四半期における日本の売上高は、1.4%減の4億2,300万ユーロとなりました。プラビックス®とAprovel®におけるジェネリック医薬品との競合およびワクチンの売上高減少の影響により、希少血液疾患製品群の連結売上高が相殺されました。2018年度通年における日本の売上高は、2.0%減の17億1,000万ユーロでした。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べる記述ではありません。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とサノフィが外部成長の機会から利益を得て、関連する取引を完了し、規制当局の認可を取得する可能性に付随する不確実性、知的財産権やそれに関連した進行中または係争中の訴訟、ならびにそのような訴訟の最終結果に関連するリスク、為替レートと実勢金利のトレンド、不安定な経済情勢、コスト削減イニシアチブとその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2017年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。